

e-ビーフNEWS 北の牧場から

November 2025

月刊情報誌
No.143
発行
特定NPO環境リサイクル肉牛協議会
〒000-0351
北海道河東郡音更町字然別
北5線西25番地2
FAX 0155-40-7301

十勝は、秋真っ只中

朝開けが一段と遅くなった。6時近くにならないと明るくならない。定期的に豪雨がやってきて、一雨毎に気温が下がり氷点下に。先日の台風並みの暴風雨で、山からの取水ホースが倒木で破損して、牧場への引水がストップした。2日がかりの修繕となつた。

猛暑で今年の紅葉が心配されたが、山々は彩きれいだ。今、カラマツの黄金色が映る。先日、初雪が観測されたが、まだ山々の積雪は見られない。

収穫作業も佳境を過ぎ、最終のピートが始まったばかり。収量は、干ばつの影響で、作物のよってバラツキ、根物は苦戦している模様。わが菜園では、ジャガイモはダメだったが、サツマイモが大きいのが取れた。温暖化が顯著に表れてきた。

巷でのクマ騒動。役場から注意情報が頻繁に出ている。間もなく冬眠に入るのに、山の木の実の不作が深刻そう。

デントコーンの収穫も終了し、今年は4t/反と少な目。コントラ収穫時期の遅れから、完熟になり枯れ枯れ状態。サイレージ調整が難しいが1年間の飼料が決まるのでおいしくなあれとお祈り。隣の町営牧野からアンガスや短角も下牧し、冬支度も整ってきた。



活動のお知らせ

10/22(水) HOBA北海道オーガニックビーフ振興協議会臨時総会 とかちプラザ

HOAP一般社団法人 日本オーガニック畜産会合設立総会

10/23(木) 第12回北海道内専用種枝肉共奨会 北海道畜産公社 十勝工場

第22回 資源循環型牛牛生産シンポジウム2025 「Future With Cows 牛とともに歩む未来～資源循環型生産の一事例から～」

映画上映「World Without Cows ~牛なき世界~」

基調講演「エコフィードを活用した有機肉用牛生産に係る環境負荷の試算」

講演者:農林水産省 研究統括官室 堀 道生 氏 ほか



NEWSばか読み

- 農水省 備蓄米放出合計59万t 国の保有6割、需要の1割程度10/1:お疲れ様
- 日本公庫 2025年上期農業景況発表 プラス維持 稲作・茶好調 酪農回復 肉牛苦戦 10/3:さてさて
- オーガニックライフEXPO開幕265団体企業参加10/3:まだまだ
- 農水省 2025年度3回目のコメSBSで3倍の申し込み10/4:民間貿易懸念
- ブランド総研 2025年度都道府県魅力度調査で北海道トップ17年連続 10/6:光榮です
- 農水省 豚熱での殺処分対象を症状無しは除外方針検討 10/7:適用範囲限定が必須
- 農研機構 フランス国立研究所と気候変動に強い作物開発連携へ 10/7:グローバル
- イオンアグリ創造 自社栽培米を1.5に拡大10/8:コメのPP
- チモシーの夏枯れが道東地区で広範囲化10/8:牧草も耐暑品種は必須
- 農業党倒産25年度上期53件30年で最多畜産倒産21 高コスト 10/9:影響ひしひと
- JA北海道中央会 生乳生産増産へ403万t超え10/9:展望ありき増産へ
- 俱知安農高 黒毛和種のグラスフェッド肥育生産10/9:試み
- 農水省 25年度産米 1割増748万t在庫適正水準超え10/11:適正とは 農水省 24年度食料自給率発表 38%横ばい 10/11:生産努力は如何に

- 野生イノシシ 北東北に被害最大 降雪減少で生息地域北上13.7面円
- 10/16:海渡るな 農水省 牛ヨーネ病で検査方法見直し検討10/16:実態把握
- 環境省 苦小牧でオオワシから鳥インフル シーズン初10/18:これから
- 枝肉相場 10月交雑牛が過去5年で最高値1600円10/21:ブーム
- コメ相場 最高値3.7万円昨対6割高10/22:上げすぎ
- 白老町鳥インフル、台湾アフリカ豚熱発生10/23:疾病の蔓延化
- 農水省 家伝法改正方針 違法畜産物の摘発強化10/24:伝染病防疫なるか
- 農研機構 ゲノム編集作物GABAトマト等の拡大推進10/24:GMとの違い
- 文化審議会 人間国宝に「食」追加 農業も可能性10/25:食文化の原点農
- ホルスタイン共進会 安平町で開催10/25:ともに
- 兵庫県豊岡市 11/22コウノトリサミット放鳥20周年10/27:環境農業
- ハクサイなど秋冬野菜に虫食感 昨年から一転10/28:すき焼き食べて
- コメ再生二期作(ひこばえ) 拡大の気配10/28:牧草と同様
- 道子実コーン組合10周年式典/:貢献しているね
- 米国 フードスタンプ食料補助停止10/30:トランプ効果
- コメの民間輸入が208倍に拡大10/31:需給バランス崩れ

東京直近NEWS(10/29 Shi-REPORT)

ホルス

市況相場は上場少なく上げ基調にて推移。

頭数の絶対頭数減が顕著な状況で、各メーカー集荷頭数苦戦模様。

販売状況は低調と枝コスト増から価格上昇しており悪化助長。

とて、絶対頭数不足から切落しや赤身部位の不足感は強く、末端からホルス減少傾向。

荷動きは悪いが頭数は慢性的に不足し、相場水準は高値も部分肉の値上げ難航し、国産牛肉の売り場は困惑。

経産牛

北海道内の出回り頭数の減少基調は継続課題。

直近相場はやや天井を打った様子も高値上昇が続いている。枝肉@1000突破もし始めている。販売面は高値基調からバラ系やや鈍く、赤身モモ、ロインもやや鈍化も余剰はなし。

加工原料としての冷凍アイテムも不足しているが相場高騰から使用見直し状況でやや荷動き鈍く。挽材も一時の引き合いからは落ち着いており、こちらも高値からやや鈍化してきている印象。

一部ではスポット的に挽き材案内の情報もある。高値続きから原料・配合見直しの動きが多くこの先の情勢が読めなくなりつつある。

反芻動物の科学Ⅲヒートストレスとその対処 ELF Consulting Office 10/30/2024 Toyohiko Seno 6回シリーズ⑥

Feed Line Soaking



脚部も強力なヒートストレス対策
牛舎内では主にこの方法が選択。
APG(ANP)は、水栓 (183cm)
距離のノズルを設置の例。

Feed Line Soakingとファンの組み合わせ



水を使う場合の牛舎の構造上の弱点

- 冷却方法を強化する場合は、牛体にかけた水の残りを注意する。
- 冷却に水を使う場合、多くは牛床に水が漏れる。牛床に勾配がない場合が多いと思うので、この問題が残る。
- 飲料が漏れる問題も同様に残る。

⑪成牛の状態の比較

- 自然換気⇒強制換気⇒細霧+ファン⇒Feed Line Soaking
- 気温だけでなく暑熱期間が長いためにこれまでの対策の効果が小さくなる。そのため、新たな暑熱対策が必要になる。

放牧地にいる快適な環境の姿勢



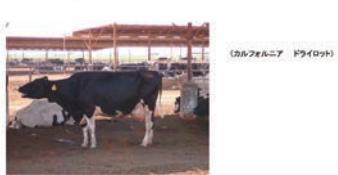
放牧地にいる快適な環境の姿勢

流延を垂らす成牛



牛は飛行によって涼感する傾き少なく、流延をためる

過呼吸の放熱(Panting)の成牛



牛の姿勢で、ヒートストレスの強度を判断

- 人間の側から考えることで、ストレスの程度を誤る。
- 牛舎内の横臥する姿勢や飲水状態を観察する。
- ストレスを強く受けたパンティングの状態となる。
- ストレスの限界を超えると牛は死んでしまう。
- 北海道は過去から冬季の保溫に重視してきた。
- 子牛の管理は別の観点が必要。

資源循環型肉牛生産シンポジウム 2024

転載・再利用は固くお断りします

話題提供3.「活用事例 地産地消人のパンづくり藤森商会と食の地域循環」4回シリーズ②

株式会社満寿屋商店(ますやパン) 代表取締役社長 杉山 雅則 氏



日本一広いパン屋 麦音(むぎおと)
敷地面積 3600坪に小麦畑
風車・水車で小麦粉を挽く



麦音 約90種類のパン・菓子を
十勝産小麦だけで作っている



音楽ライブと焼きたてパン



アンドーナツの地産地消



北海道産食材を8割以上使用
同じ地域の食材の相乗効果